

(令七文後)

小論文

- ・問題は1～8ページである。
- ・下書き用紙は中に2枚入っている。

注意 解答は答案用紙に縦書きで記入しなさい。

次の文章は、真木悠介『時間の比較社会学』（一九八一年）の一節である（ただし、一部に変更がある）。これを読んで、あとの問い三に答えなさい。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

問一 傍線部①「現在する過去」の感覚」とはどのようなものか。三〇〇字以内で説明しなさい。(配点四〇点)

問二 傍線部②「両者は、ほんとうはおなじ世界をべつな言葉で表現している」とあるが、どのようなことか、四〇〇字以内で説明しなさい。(配点六〇点)

問三 傍線部③「白人は先住民を殺害することでその生を奪うけれども、その土地に自然を解体し吸収することで、たんにその生のみならずその死をも奪うのである」とはどのようなことをふまえて、人間と自然との関係についてあなたの考えを八〇〇字以内で述べなさい。(配点一〇〇点)